

平成26年度
予算

地域の宝をみつけ、磨き、
育て、つなげて、元気な三原へ

平成26年度の予算総額は、昨年度に比べ、1億6,800万円(0.2%)増加しました。一般会計予算は、地域の活性化に必要な事業を盛り込むとともに、財政の健全化に向け、市債発行の抑制、過去に借り入れた資金の繰上げ償還などに考慮しました。

一般会計	430億6,400万円
特別・ 企業会計	341億300万円
合計	771億6,700万円



三原市長 天満祥典

三原市は、陸・海・空の交通の要衝であり、温暖で災害の少ない地域特性に加え、美しい景観や名所など、多くの観光資源があり、潜在力は非常に高いまちです。

これらを生かし、地域の活性化を実現するため、市民と市とが協働し、地域の宝をみつけ、磨き、育て、つなげていくことに、私自身が先頭に立って取り組み、「元気な三原」を創造していきます。

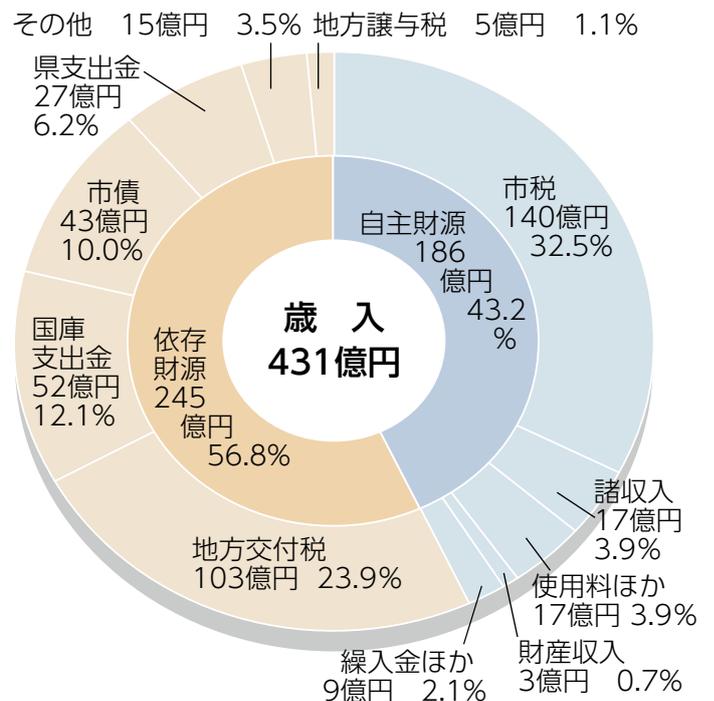
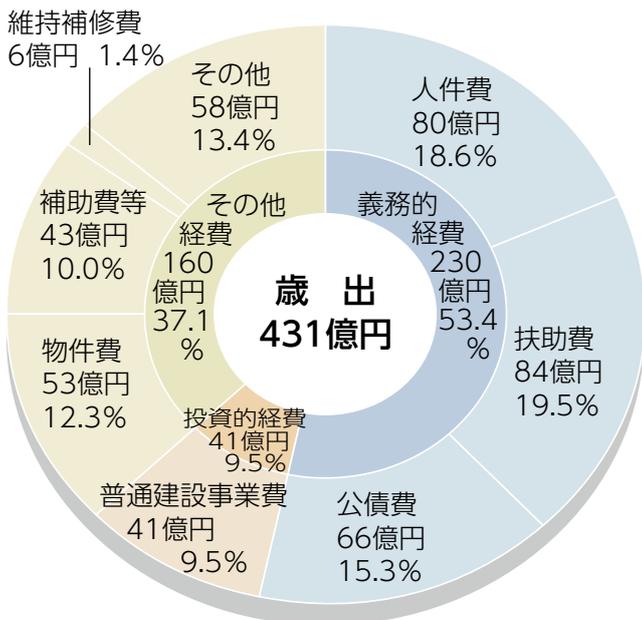
このため、平成26年度においても地域資源を生かした観光交流や定住促進、企業誘致・地場産業の支援などに取り組むとともに、人材育成を通じた、市民協働による「地域活性化」を図ります。併せて、将来の三原市に負担を先送りすることのないよう「行財政改革」を進めていきます。

☎ 財政課 0848・676028



一般会計(歳出)

一般会計(歳入)



※その他は、積立金、出資金・貸付金、繰出金です。

※その他は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金です。

平成26年度重点施策と予算

平成26年度は合併後10年の節目の年です。合併後、市が実施してきた多くの事業のよりどころとなっている計画が終期を迎えると同時に、来年度以降の市政の方向性を決める重要な年です。

そのため、今年度の施策は、これからの新たなまちづくり方向性を決める事業や、さらなる活性化に向けた事業に重点を置いています。主な施策とその予算について、4つの取り組みに整理し、その概要を紹介します。

新たなまちづくりへの取り組み



▲まちづくりの基本となる計画などを定めます

●長期総合計画の策定……744万円

現在の長期総合計画基本構想が平成26年度で終了するため、新たなまちづくりの指針として、次期基本構想と基本計画を策定します。

●第2次市民協働のまちづくり推進計画の策定……460万円

まちづくりの基本となる市民協働について、これまでの成果と課題を踏まえて方向性と重点項目を定め、具体的な取り組みをまとめた新たな計画を策定します。

●行財政改善大綱の策定……32万円

行財政改革の目標を定めた、行財政改善大綱の推進期間が平成26年度で終

了するため、これまでの進捗状況を確認するとともに、次の大綱と実施計画の策定を始めます。

●公共施設マネジメント計画の策定……700万円

公共施設の適切な維持・管理や改修、更新などを、中長期的な視点で計画的・効果的に実施するため、公共施設を総合的にマネジメントする計画を策定します。

●まちづくり戦略検討事業……1,478万円

学識経験者や民間事業者を委員としたシンクタンクを設置し、市の活性化の推進や行財政改革などを検討するとともに、この結果を今後のまちづくりや市政運営に反映させます。



インタビュー

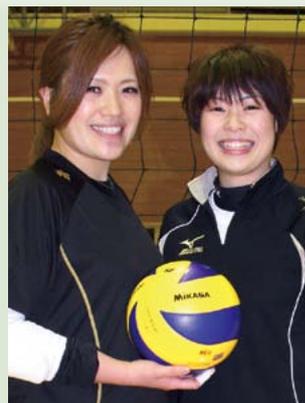
右から、
岡 久美子さん
(宮浦六丁目)
新川実果さん
(中之町四丁目)

2人とも県外に進学し、就職で三原に帰ってきました。豊かな自然や人の温かさ、交通利便性の高さなど、生活しやすさが魅力だと思います。誰もが幸せを感じながら暮らせるまちになってほしいです。



濱本大輔さん
(鷺浦町向田野浦)

三原の魅力をそのまま生かしたまちづくりを望みます。特に観光を振興させ、市外からたくさんの人を呼び込んでほしいですね。私が住む佐木島も、住民の努力で観光客が少しずつ増えています。



活性化への取り組み

●観光戦略プランの推進

3,350万円

観光テレビ番組の放送やラジオ放送など、メディアを活用した観光情報の発信を強化します。また、魅力ある観光地づくりの拠点化整備の取り組みを進めます。

●三原城築城450年記念事業の推進

511万円

平成29年に三原城築城450年を迎えるに当たり、市民や関係団体と記念事業の基本方針などを策定します。



▲平成29年に築城450年を迎える三原城跡

●瀬戸内ループ鉄道観光推進事業

100万円

呉市、東広島市、竹原市と協議会を設立し、瀬戸内しまのわ2014などと併せて、県内外からの観光客の周遊促進に取り組みます。

●中心市街地商業等活性化事業

1,182万円

中心市街地の活性化をめざし、商工団体などがにぎわい創出のために開催するイベントの経費の一部を補助します。また、空き店舗を賃借し、新規出店する事業者へ改装費や賃料の一部を補助します。

●地域商業活性化支援事業

516万円

中心市街地を除く全市域で、空き店舗などを利用して新規出店する事業者や、既存店舗を改装して事業を継続する事業者へ、改装費などの経費の一部を補助します。



▲中心市街地を活性化するため、各種の事業を実施します

●起業化促進事業

54万円

新規起業や新事業への進出を促進する支援プランを策定するとともに、地域産業が育ちやすい環境を整備し、起

業の育成支援体制を構築します。

●住民組織活動支援費の補助

320万円

中山間地域活性化地域計画を策定した住民組織に、活動に必要な費用を補助します。

●農業振興・ビジョンの推進

2,921万円

新たな計画を策定し、地域の特徴を生かした次世代に引き継ぐことのできる持続可能な農業の確立をめざし、さまざまな補助事業を実施します。

●有害鳥獣駆除対策

4,122万円

イノシシ防護柵などの設置費用を補助するほか、モデル集落を設定して総合的な鳥獣被害対策の取り組みを推進します。

●漁場改良

295万円

アサリ資源の回復、タコ産卵礁の設置などに加え、幼稚魚放流では新たにアコウの放流を始めます。

●地域支援員の設置

962万円

地域の実情に詳しい人材を本郷・久井・大和地域に地域支援員として設置し、支所などと連携しながら地域の維持と活性化に取り組みます。

●ウエスタンリーグ開催事業

160万円

プロ野球のウエスタンリーグ(2軍戦)の広島東洋カープ戦を市民球場で開催します。



右から、
吉弘太陽君 (明神四丁目)
坂村空奏君 (明神一丁目)
三浦楓人君 (明神二丁目)

野球を練習する場所がもっとほしいです。バッティングセンターとか、楽しい遊具のある広い公園とか、遊ぶ場所ももっとあるといいな。三原でプロ野球の試合を観戦できるのはワクワクします。



奥野淳司さん
(城町一丁目)

駅前を中心市街地は三原の“顔”なので、活気のあるにぎやかな場所になってほしいですね。空き店舗が多い今の状況は残念です。車で来やすいように、駐車料金を下げたり、高齢者でも利用しやすい駐車場を整備したりする必要があると思います。

市民のくらし良さに向けた取り組み

●要緊急安全確認大規模建築物耐震化事業

法改正により、新たに耐震診断の実施が義務付けられた大規模建築物の耐震診断にかかる費用を補助します。

●自主防災組織の設立促進と育成支援

自主防災組織の新規設立を支援するとともに、防災資機材の補充や訓練実施にかかる費用を助成します。地域防災リーダー養成講座の修了者が所属する自主防災組織に、防災士の資格取得を助成します。

●救助工作車の更新

複雑多様化する各種の災害事案に対応するため、救助工作車を更新します。

●南小学校のグラウンド芝生化

児童の運動促進など心身の健全育成や、地域コミュニティの活性化を図るため、南小学校のグラウンドを芝生化します。

●第三中学校の改築

第三中学校の校舎を改築するための設計と、旧南小学校の解体工事を行います。

●西幼稚園の改築

老朽化している西幼稚園を改築し、耐震化するための設計を行います。

●リージョンプラザ展示ホール改修のための調査

美術品などの保管環境を改善し、来館者がより快適な環境で美術品などを鑑賞できるように、リージョンプラザ展示ホールを改修するための調査・研究を行います。



▲美術展などが開かれるリージョンプラザ展示ホール

●在宅要援護者仲間づくり育成事業

誰もが安心して暮らすことができる地域づくりのため、高齢者や障害者、子育て世代などを対象としたサロンの運営などを支援し、社会福祉協議会に

地域福祉コーディネーターを配置します。

●高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定

高齢者が地域で安心して過ごせるように、高齢者福祉や介護サービスを効果・効率的に実施する計画を策定します。

●周産期医療運営費補助

市内の妊婦やハイリスク分娩を24時間受け入れている医療機関を補助し、安心して出産できる環境を整えます。

●健康・食育みは5プランの推進

生活習慣病の予防、運動の普及・促進、食育の推進のため、各種事業を実施します。新規に40・50・60歳の人を対象に、無料で歯周疾患検診を実施します。



▲40・50・60歳の人に無料で歯周疾患検診を実施します

インタビュー

萩谷節夫さん(小坂町)

防災には「自分たちの地域は、自分たちで守る」という自覚が大切です。そのため、自主防災の基盤となる町内会や自治組織の活動を活性化する施策を、継続的に実行してほしいです。地域防災の担い手である防災リーダーの育成強化も必須だと思います。



前友郁保さん(久井町下津)

峰子さん
春輝君
ひかるちゃん

遊びや相談の場があるなど、現在でも子育ての環境は充実していると感じます。地域の人も子どもを温かく見守ってくれています。久井認定こども園では、どんな行事や催しがあるのか、楽しみにしています。



基盤整備への取り組み

●新斎場建設の調査……3,140万円
新しい斎場の建設のための調査を実施し、早期の事業着手に努めます。

●清掃工場長寿命化改修
……………6,274万円

供用開始から15年が経過し、焼却能力が低下している清掃工場の基幹設備を計画的に改修し、施設全体の長寿命化を図ります。



▲長寿命化を図る清掃工場

●簡易水道整備事業

久井地域………10億4,440万円

野間川ダムを新たな水源として、久井地域における水道施設の整備を進めます。

久井町土取地区……1億2,220万円

水源である地下水の水量が不安定な久井町土取地区において、西野浄水場との管路接続に着手し、水道水の安定供給を図ります。

大和地域………6億3,620万円

棕梨ダムを新たな水源として、大和地域における水道施設の整備を進めます。

●松浜・目野地区の港湾整備

……………1億1,467万円

県施行事業として実施。松浜地区第2工区は防災機能とにぎわい空間の創出による地域振興の観点から、整備を進めます。

●生活交通の維持・確保

……………1億5,181万円

路線バスや定期航路など、地域住民にとって日常生活に欠かすことのできない生活交通を維持・確保します。

●街路の整備………1億9,030万円

市街地の交通網を形成する古城通系崎線、本町古浜線と円一皆実線の事業を引き続き推進します。

●都市公園の整備・更新

……………1億110万円

東本通8号公園を整備するとともに、三原運動公園などの公園施設を計画的

に更新します。

●東本通地区での土地区画整理事業

……………6億1,260万円

良好な住環境を創出するため、引き続き東本通地区での土地区画整理事業を進めます。



▲良好な住環境に恵まれた東本通地区

●公下水道の整備

……………11億2,042万円

地域の生活環境の向上、川や海の水質保全のため、新たに約14haの汚水管の面整備を実施し、平成26年3月末で39%だった人口普及率を41%まで高めます。

●庁舎整備方針の検討………207万円

外部の有識者や団体代表者などを委員とした検討委員会を設置し、耐震診断などの結果を元に、市役所本庁舎と議会議場の整備方針について検討します。



中井一男さん
節子さん
(大和町大草)

集落が高齢化し、日々の生活に不安を感じている人もいます。買い物や郵便局に行くのも車なので、運転ができなくなったら…と心配しています。フライトロードができて便利になりましたが、市街地へスムーズに行けて運転しやすい道路を整備してほしいです。



田中文子さん
(本郷南二丁目)

自然が身近にある本郷が大好きです。最近は新しい家やお店も建ち始め、街がにぎやかになり、子どもたちの声も響くようになってきました。きれいな川を汚したくないので、下水道が早く整ってほしいです。